



目次



安全上のご注意	95
警告	95
ご使用になる前に	96
梱包部品一覧	97
各部の名称とはたら	97
夏時間設定について (DST) 日本設定不要	99
手動で時刻の設定	100
アラームの設定	100
FMラジオを聴く	102
ブルートゥーススピーカーを聴く	104
外部入力を聴く AUX-IN	105
スリープタイマーを使う	106
超高速ワイヤレス充電	106
USB端子から外部機器への給電	108
ディスプレイ輝度設定 4レベル調光制御	108
リチウム電池の交換について	109
お手入れの仕方	110
おかしいな?と思ったら	110
製品保証について	110

安全上のご注意









- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。(物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグ (ACアダプター) をコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。電圧の違うところ・自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・感電の原因になります。	 禁止	雷が鳴り始めたら、ACアダプターに触れない。感電の危険があります。	 指示	電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。失明や目に障害を負う恐れがあります。
	日本国内以外で使用しない。本機は日本国内専用です。		本機に対してスプレー式のエアダスターを使用しない。本機の内部にガスがたまった場合、引火して爆発する原因になります。		取りはずした電池の扱いに注意する。幼児の手の届かないところに保管してください。電池を口に入れたり、ショートさせたりすると事故の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。火災・感電の原因になります。		温度の高いところ、水蒸気が多いところ、湿度が高いところ、直射日光が当たるところ、屋外、振動の多いところに設置しない。火災・感電・故障の原因になります。		使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	電源コードが傷んでいるとき、本体のDCプラグの差し込みがゆるいときは使用しない。感電・ショート・発火の原因になります。		ろうそくなど、炎が出るものを近くに置かない。炎が近づくとき、火災の原因になります。		お手入れのときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜く。感電・火災・けがの原因になることがあります。
ACアダプターを、乳幼児の手のとどくところに置かない。コードが踏んで首に巻きついたりして事故の原因になります。	 使用禁止	 プラグを抜く	異常時(こげ臭い・発煙など)はACアダプターを抜き、使用中止する。火災・感電の原因になります。ACアダプターをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドワンジヤお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。感電・けがの原因になります。			ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。感電・ショート・発火の原因になります。		 ぬれ手禁止
強い衝撃を与えたり、本体を落下させたりしない。衝撃を与えたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。	 指示	 水ぬれ禁止	ACアダプターの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。ホコリが付着したままACアダプターを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。本機の上に水のいった容器や植木鉢などを置かないでください。ショート・感電の原因になります。

注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ ●ほこりの多いところ 変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。	 禁止	お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。	 指示	廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	熱のこもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。		上にものをのせたりしない。 内部に入ったとき、感電や火災・故障の原因になります。		音量に注意する。 使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。
	不安定な場所・傾斜のある場所で使わない。 転倒や落下で、けが・故障の原因になることがあります。	 指示	電池の極性に注意する。 電池をセットするとき、電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。		接続に注意する。 本機の入力端子へ接続した機器の過大信号によっては、本機を傷めたりすることがあります。正しい接続をしてください。
	指定以外の電池を使用しない。 電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。		ACアダプターを抜くときは電源コードを持たずに必ずACアダプター本体を持って抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。		持ち運びするときはACアダプターや外部機器を取りはずして、本体の下部を持って移動する。 けが・故障や外部機器の破損の原因となります。
電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。	長時間使用しないときはバックアップの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。				

ご使用になる前に

ボタン電池について ボタン電池を扱うときには

- 指定以外のボタン電池は使用しない。
 - 極性表示を間違えないで挿入する。
 - 水や火の中に入れて、充電・加熱・分解・ショートしない
 - 液漏れがおきたら使用しない。
- ボタン電池はもちろん、本体も液が付いた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにしてください。万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- 長時間使用しないときは、ボタン電池を外しておく。
 - 使用後は、必ず各自治体の指示に従って処分する。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合による外部機器等への記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

FM補完放送について FM補完放送(ワイドFM)

- AM放送の放送区域において難聴・災害対策のため、FM放送の周波数(従来の76.1~89.9MHz新たに設定された90.0~94.9MHz)を用いて、AM放送の補完的な放送をしています。

本機はFM補完放送に対応しています。

- ※ FM補完放送を実施している放送局、周波数、聴取エリアなどは地域によって異なります。詳しくは各地域の放送局ホームページなどを確認してください。

梱包部品一覧

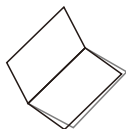
お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

※CKS910本体...1個 ※取り扱い説明書...1冊

※バックアップ電池(CR2032)動作確認用...1個(本体に装着済)

• CKS910 Clock Radio x 1

• Owner's Manual

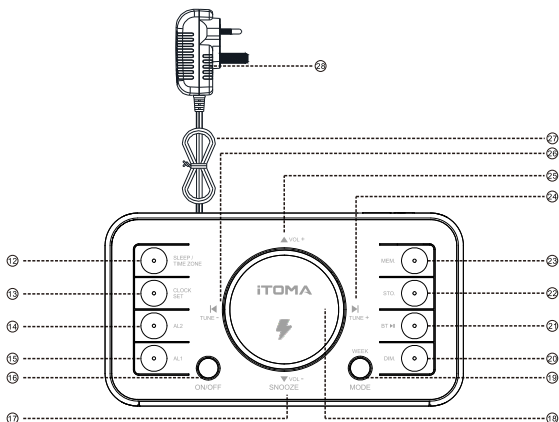


各部の名称とはたらき

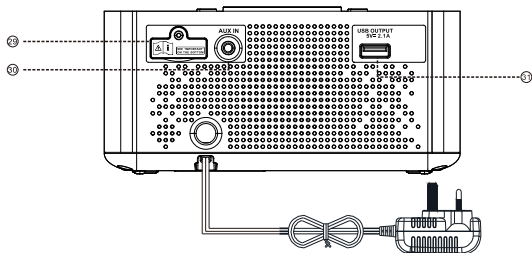
正面



天面



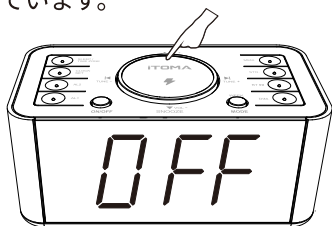
裏面



1. アラーム1入/切表示 (☛ ラジオ)
2. アラーム1入/切表示 (🎵 ブザー)
3. AM 午前の表示 (時間)
4. AUX-INモード表示
5. 📶)ワイヤレス充電表示
6. 曜日表示
7. 🔋内蔵電池の残量表示
8. MHz ラジオ受信周波数単位
9. BTブルートゥース接続表示
10. アラーム2入/切表示 (☛ ブザー)
11. アラーム2入/切表示 (🎵 ラジオ)
12. SLEEP スリープタイマー設定
13. CLOCK/SET時刻設定
14. アラーム2入/切設定
15. アラーム1入/切設定
16. ⏻ POWER (ラジオ、ブルートゥースとAUXの ON/OFF 電源入/切をします)
17. ▼ダウン/VOL-/SNOOZE (時計設定/音量-/スヌーズ機能)
18. 超高速ワイヤレス充電パッド
19. MODE/WEEK モード切替/曜日設定
20. DIMMER ディスプレイ輝度設定
21. BT 📶 ブルートゥース接続時、音楽の再生/一時停止をします
22. STO. (STORE)ラジオ放送局プリセット設定
23. MEM. (memory)ラジオのプリセット局を選択します
24. ▶TUNE+ ラジオ選局・時刻選定
25. ▲UP/VOL+ 音量調整
26. ◀TUNE-ラジオ選局・時刻選定
27. アダプターケーブル
28. ACアダプタ
29. バックアップ電池ホルダー
30. AUX IN 入力端子
31. USB充電ポート

夏時間設定について (DST) 日本設定不要

自国内に時差がある場合に設定するものです。(例:米国、カナダ、ロシア等) 以下のように各国の自動DST(夏時間)にプリセットされています。



製品コード	ディスプレイ 表示	エリア
NA	US	アメリカ・カナダ
DE	EU	ヨーロッパ
UK	En	イギリス
AU	AU	オーストラリア
CO	Co	メキシコ
JP	JP	日本

①製品のリセット(工場出荷時設定)になると、製品は再利用する前にDSTを設定する必要があります。このDST設定は、時間設定で設定できます。時、分、月、日、年、12/24時間制、DSTの設定が可能

②MODEボタンを長押しして、DSTワード(OFF/EU/US/En/AU/Co/JP)が点滅し、この点滅中に[MODE]ボタンを押して、国を選択します。(OFFはDSTをオフにします。EUはヨーロッパを表します。USは米国またはカナダを表します。Enは英国を表します。AUはオーストラリアを表します。Coはメキシコを表します。JPは日本を表します)

手動で時刻の設定

現在時刻とカレンダーをチェックする「CLOCKSET」キーを短く押すごとに、「年」→「日付」→「時刻」表示に戻ります。時間表示モードに戻すには、そのまま放置して戻します。

①「CLOCKSET」ボタンを押したまま、時間と分の数字が同時に点滅します。「◀」または「▶」ボタンを押して時間を調整します。「▲」または「▼」ボタンを押して分を調整します。

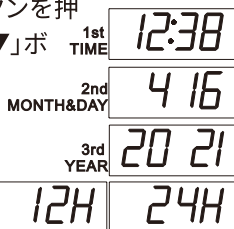
②「CLOCK SET」ボタンをもう一度押すと、「月」と「日付」の数字が同時に点滅し、「◀」または「▶」ボタンを押して

月を調整し、「▲」または「▼」ボタンを押して日付を調整します。

③「CLOCK SET」ボタンをもう一度押すと、「YEAR」の数字が点滅します。「▲」と「▼」または「◀」と「▶」キーを押して、年を調整します

④もう一度「CLOCK SET」キーを押します。ディスプレイの「24H」または「12H」が点滅します(24Hは24時間制、12Hは12時間制)「▲」と「▼」または「◀」と「▶」キーを押す時刻表示を調整します。

⑤「CLOCK SET」ボタンをもう一度押すか、40秒待って時計表示に戻ります。



アラームの設定

重要:アラーム設定はスタンバイモードで確認および調整できます

- 1♪/2♪ ラジオに呼び起こす
- 1▼/2▼ プザーに呼び起こす
(2つのアラーム着信音が利用可能です)

アラーム起動日を設定します

毎日 月曜日から日曜日

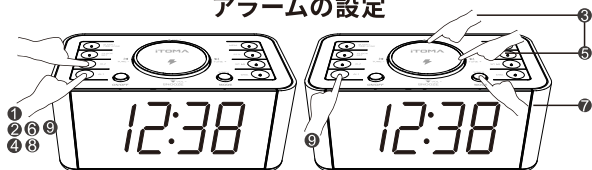
平日のみ 月曜日から金曜日

週末のみ 土曜日と日曜日

単独曜日指定 アラームは希望する日にオンになります



アラームの設定



- ①「AL1」ボタンを繰り返し押し続けてアラーム音を選択:「♥」が表示されている場合、アラーム1「ブザー音」がオンになります。「♪」が表示されている場合、アラーム1「ラジオ音」がオンになります。「♥」と「♪」の両方が表示されなくなった場合、アラーム1は完全にオフになっています。
- ② 希望のアラーム音を選択後、「AL1」ボタンを3秒間押し続けると、「時間」と「分」の数字が同時に点滅します。
- ③「◀」または「▶」を押して時間を調整し、「▲」または「▼」を押して分を調整します。
- ④再度「AL1」ボタンを押すと、「CURRENT VOLUME LEVEL」の桁が点滅します。音量レベルは1から15まであり、レベル15が最大です。
- ⑤「▲」または「▼」ボタンを押して、希望のアラーム音量レベルに調整します。
- ⑥「AL1」ボタンをもう一度押すと、「日付」の文字(月～日)が点滅します。
- ⑦「WEEK/MODE」ボタンを押して、アラーム起動モードを選択します。本機はアラームごとに4つの起動モードから選択できます
毎日-アラームは7日間すべてオンになります
平日のみ-アラームは月曜日から金曜日までのみ起動します
週末のみ-アラームは土曜日と日曜日にのみ起動します
単独曜日指定-アラームは希望する日にオンになります
- ⑧「AL1」ボタンをもう一度押すか、40秒待ってアラーム設定を完了します。アラームを設定すると、ディスプレイに「♥」または「♪」のアラームインジケータが表示されます。

⑨ AL1 を完全にオフにするには、AL 1インジケーターが消えるまで「AL1」ボタンを繰り返し押ししてください。

⑩ AL2 (アラーム2) 設定方法はAL1(アラーム1)と全く同じ方法です。

スヌーズアラーム

アラームが鳴ったら、SNOOZE ボタンを押して9分間一時停止します。スヌーズアラームモード中はアラームインジケーターが点滅します。スヌーズアラームをオフにするには、POWER ボタン、AL1 ボタン、またはAL2 ボタンのいずれかを1回押します。

注意:

①アラーム鳴動中に何も操作しないと、60分後にアラームが停止します。

②アラーム音に「ラジオ」を選択すると、最後に聴いたラジオ局が再生されます。

Fmラジオを聴く

ラジオモードをオン/オフにする

電波干渉を避けるために、時計付きラジオを他の電子機器から離してください。電源コードを完全に伸ばして、FM受信が良好になるように向けます。

• **ON/OFF**ボタンを押して、スタンバイモードからオンにします。

• **MODE**ボタンを繰り返し押しして、ラジオモードに切り替えます。(MHzインジケーターとFM局の周波数が表示されます)

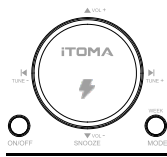
• **VOL+**または**VOL-**ボタンを押して、好みの音量に設定します。

• ラジオを聞き終わったら、**ON/OFF**ボタンを押してラジオを「**OFF**」にします。その後、MHzインジケーターが消えます。

注意: ワイヤレス充電中は、FM 受信に干渉する可能性があります。ラジオを聞くときは、USB 充電を使用して受信を最適化してください。

TUNING コントロールで希望の局を受信します

- TUNE+/TUNE-ボタンを短く押すと、受信周波数が1段階ずつ増減します。
- TUNE+/TUNE-ボタンを3秒間押し続けてから放します。放送局を自動検索します、受信可能な放送局が見つかるまで受信周波数が自動的に増減します。



放送局のプリセット設定とプリセット済局を選ぶ

お気に入りのラジオ局がいくつかある場合、それらを特定のメモリ場所に保存しておけば、毎回検索する必要がなく、数秒でその中から1つを選択できます。当社のデジタルチューニングテクノロジーにより、以下の手順でこれを簡単に実行できます:

放送局のプリセット設定

- **ON/OFF**ボタンを押してから、**MODE**ボタンを繰り返し押し続けてラジオモードに切り替えます。(MHzインジケータが表示)。
- 「**tune-**」または「**tune+**」を押して、希望の放送局に選局する。
- **STO**ボタンを「**PXX**」が点滅するまで(2秒間)押し続けると、現在選局中の放送局を保存するメモリ位置を示します。
- 「**PXX**」が点滅しているときに、**TUNE+**または**TUNE-**ボタンを押すと、メモリー位置を1から**20**に変更できます。(たとえば、「**P03**」は、現在の聴いている放送局が記憶)
- メモリー位置を決めたら**STO**を押します。ボタンをもう一度押すと、現在聴いている放送局がそれに応じて保存されます。
- ディスプレイに放送局の周波数が表示され、数秒後に現在時刻に戻ります。

プリセット済局を選ぶ

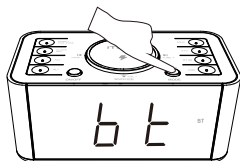
- **ON/OFF**ボタンを押してから、**MODE**ボタンを繰り返し押し続けてラジオモードに切り替えます。(MHzインジケータが表示)。
- **MEM**ボタンを押すと、ディスプレイに「PXX」が表示され、メモリー位置の放送局が選局されます。
- **MEM**ボタンまたは**TUNE+/TUNE-**ボタンを繰り返し押し続けると、メモリー位置が**1~20**に変わり、メモリー位置を選択してすべてのボタンを離すと、その場所に保存されている放送局が選局されます。
- ディスプレイには放送局の周波数が表示され、数秒後に現在時刻に戻ります。

自動プリセットするときの注意

- プリセットする前に、窓際などの電波状態の良いところへ移動させてよりよい受信状態できるようにしてください。
- プリセットするのは日曜深夜などは避けるようにしてください。放送されていない局があり、本来受信できるはずの局を受信できないことがあります。

Bluetoothスピーカーを聴く

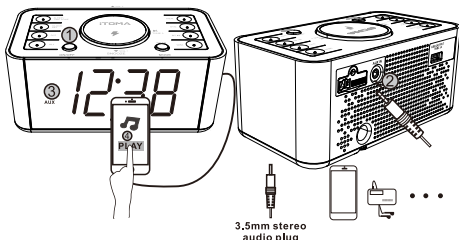
- **ON/OFF**ボタンを押してから、**MODE**ボタンを繰り返し押し続けて**Bluetooth(bt)**モードに切り替えます。(ペアリングの場合、**BT**インジケータが「点滅」)
- **Bluetooth**デバイスを有効にして、Available/PaireddeviceリストからCKS910を選択します。ペアリングが成功すると、本機がプロンプトを表示し、**BT**インジケータが点灯します。
- 本機とのペアリングに成功した**Bluetooth**機器であれば、自動で接続できます。
- ペアリング後、この**Bluetooth**スピーカーから音楽を再生できます。



•BTボタンを短く押すと、Bluetoothデバイスでのストリーミング再生を一時停止または再開できます。

注意:ペアリングに失敗した場合、以前にペアリングされたすべてのBluetoothデバイスは、プロンプトが表示されるまでBTボタンを長押しするか、Bluetooth接続をオフにして、デバイス間の自動再接続を避ける必要があります。次に、このユニットをBluetoothモードに設定し、携帯電話/デバイスのBluetoothスイッチをタップしてもう一度オンにして、近くのCKS910を更新/検索してペアリングします。在時刻に戻ります。

外部入力を聴くAUX-IN



このクロックラジオには、iPod、MP3ミュージックプレーヤー、またはその他のデジタルオーディオプレーヤーなどの外部機器をAUX端子に接続、本機のスピーカーから音声を出すことができます。

• iPod、MP3プレーヤー、またはその他のオーディオソースを、イヤホンジャックから本機のAUXINジャックに、両端が3.5mmステレオプラグのオーディオケーブル(別売)で接続します。

• WEEK/MODEボタンを繰り返し押ししてAUXモードモードに切り替えます。(AUXインジケーターが点灯します)

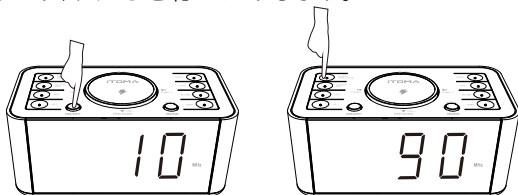
• iPod、MP3ミュージックプレーヤー、またはその他のオーディオプレーヤーの再生を開始し、外部機器の音声出力レベルを適正に調整してください。

• 本機の音量も希望のレベルに調整します。

注意: アラーム時刻になると、AUXINジャックから再生されている音楽は消音モードになります、アラーム音(ラジオ)またはアラーム音(ブザー音)はアラーム設定スリープタイマーを使う

スリープタイマーを使う

ON/OFFボタンを押して電源を入れ、MODEボタンを押してFMラジオ、Bluetooth、またはAUXモードを選択して音楽を再生したり、ラジオを聴いたりします。



- SLEEPボタンを押します。ディスプレイにスリープタイマーが表示されます。
- SLEEPボタンを繰り返し押して、希望のスリープタイマー(10~90分またはOFF)を選択します。
- カウントダウン中にスリープタイマーを表示するには、SLEEPボタンを押してください。
- カウントダウン中にスリープタイマーをキャンセルするには、ON/OFFボタンを押して本機をシャットダウンします。

超高速ワイヤレス充電


ワイヤレス充電対応のスマートフォン/
モバイル機器




Qi対応レシーバー(スマートフォン自体がワイヤレス充電対応またはQi対応でない場合)

超高速ワイヤレス充電パッドがこのユニットの上部に組み込まれており、Qi対応のスマートフォンまたはQi対応レシーバーに0.2インチ(5mm)以下の垂直距離でワイヤレス電力を転送します。

①Qi対応のスマートフォンまたはレシーバー(一度に1セットのみ)をワイヤレス充電パッドの上に置きます。充電効率を最大化するには、スマートフォンまたはレシーバーの中心がこの充電パッドの真ん中に正しく配置されている必要があります。

②ワイヤレス充電が開始または検出されている間、【】インジケータはゆっくりと「赤」で点滅します。


③ワイヤレス充電が正しく機能することを確認するには、スマートフォンに表示される充電アイコンや充電メッセージを確認してください。

④スマートフォンが完全に充電されている間、【】インジケータは「緑」に点灯します(iPhoneを除く)。また、スマートフォンの充電アイコンや充電メッセージを確認して、完全に充電されていることを確認してから、ワイヤレス充電パッドから取り外してください。

注意:

•このワイヤレス充電パッドは、7.5W iPhone 12/11/XS Max/XS/XR/X/8 Plus/8、10W Galaxy S10 Plus/S10E/S10/S9、15W Galaxy S20 および 5W-15W すべてのワイヤレス充電対応携帯電話。

•スマートフォンの背面にある保護ケースやアクセサリの厚みが5mm(0.2インチ)を超えると、ワイヤレス充電が正常に動作しない場合があります。保護ケースやアクセサリを取り外してから、スマートフォン(画面を上向き)にワイヤレス充電パッドの上に置いてください。

•干渉や過熱を避けるため、スマートフォンとワイヤレス充電器の間にコイン、鍵、金属物、磁石、磁気ストライプカードなどの異物を置かないでください。ワイヤレス充電エラーが発生している間、インジケータはすばやく「赤」に点滅し、エラーのあるレシーバーを取り外すようにユーザーに警告します。

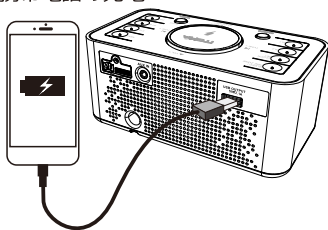
ワイヤレス充電はFM受信に干渉する可能性があります。ラジオを聞くときはUSB充電を使用して受信を最適化してください。

USB端子から外部機器への給電

本機のUSB端子でスマートフォンや携帯電話の充電をすることができます。

充電をする場合は、充電される機器の電圧/電流に適しているかご確認の上、ご使用ください。
(USB出力の定格は、5V/1.2Aです。)

※本機のUSB端子はメディアプレーヤー機能はありません。



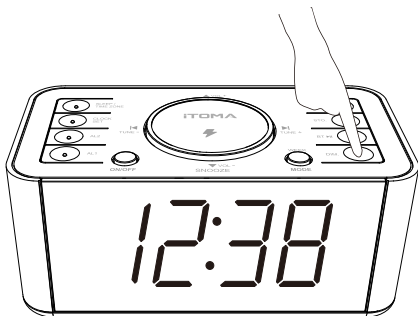
誤使用によるUSB端子に関する免責事項

1. 本製品の使用・使用できなかったこと等から生じる付随的な損害、弊社が関与しない機器との組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関しては弊社は一切の責任を負いません。
2. 天災・自然災害、第三者による事故、お客様の故意または誤使用、異常な条件下での使用、本書に記載している内容を守らない使用により生じた損害に関しては弊社は一切責任を負いません。

ディスプレイ輝度設定 4レベル調光制御

スタンバイモードでDIMMERボタンを押すと、4つのレベルのいずれかを選択できます。

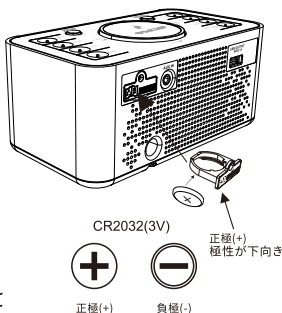
Bluetooth、ラジオ、またはAUXがオンのときにも調整できます



リチウム電池の交換について

電池交換のしかた

- ① 本体裏面のバックアップ電池ホルダーの固定用ネジをお手持ちのドライバーではずす
- ② バックアップ電池ホルダーを引き抜く
- ③ 電池面の上側が⊖のまま電池の端を押し込んで電池をはずし、逆の方法で電池をホルダーにはめ込む
- ④ バックアップ電池ホルダーを本機に差し込み、固定用ネジを取り付ける



注意

電池の誤飲防止として、電池ホルダーの固定用ネジは必ず取り付けてください。

LOW BATTERY インジケータが点滅したら、リチウムバックアップバッテリーを交換する必要があります。そうしないと、停電後に時刻とアラームの設定が失われる/リセットされます。

お手入れのしかた

警告 お手入れの際は、必ず電源プラグ（ACアダプター）を取りはずす
感電・火災・けがの原因になります。

お手入れ ※汚れたときは、柔らかい布で軽く乾拭きしてください。ディスプレイやボタン部分の汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取ったあとは乾拭きしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります）

保存のしかた ※長期間使用されないときは、十分にお手入れをして、ボタン電池を取りはずして保存してください。

注意

- ベンジン・シンナーでは拭かない。変色や変形の原因になります。
- 本体に水をかけたりしない感電・故障の原因になります。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従って使用する。変色・キズの原因になります。

おかしいな？と思ったら

警告 修理技術者以外の方は分解や修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
共通部		
電源が入らない ディスプレイが表示 されない	• ACアダプターがはずれている	ACアダプターの接続を確認する
スピーカーから音が出ない	• ③SOURCEモードキーで目的のモードに設定されていない	目的のモードに切り替える
	• 音量が最小になっている	音量を調節する
時計がリセットされる	• バックアップ電池が消耗している	新しい電池に交換する
正常な動作をしない		一度電源プラグを抜いて接続しなおす
音が小さい 音がひずむ	• 外部機器が正しく接続されていない	外部機器の取扱説明書を確認して、正しく接続する
	• 接続している機器の音量が小さい、または大きい	接続している機器の音量を調節する
ラジオ部		
雑音が入る	• テレビなどが近くにある	テレビなどから離す
	• 電波状態が悪	窓際などで試してみる FMアンテナの長さや方向を変更してみる

製品保証について

下記商品は、弊社商品であることを証明いたします。

6ヶ月間の限定条件付き保証期間となります。期間内に故障が生じた場合には、当社の判断と規定に基づき、製品交換あるいは無料で修理いたします。

<保証規定>

1. お買い上げ日から6ヶ月の期間中に取扱説明書に従った正常な使用状態で使用し故障した場合は当社の判断で、製品交換あるいは修理致しますが、お買い上げ証明（レシートや領収書など）と販売日が記載されているもののみ有効とさせていただきます。

3.次の場合は上記期間内でも対象外となります。

- ・使用方法の誤りによる故障及び損傷
- ・改造や不当(当社以外の第3社による)修理による故障及び損傷
- ・業務用または過酷な条件下で使用した場合の故障及び損傷
- ・お買い上げ後の落下、輸送などによる故障及び損傷
- ・火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害または異常電圧などの外部要因による故障及び損傷
- ・購入証明が本人ではなく、また書き換えられた場合
- ・消耗品を交換する場合
- ・腐食による損傷および故障
- ・内蔵電池の液漏れによる、損傷や故障
- ・一般家庭以外(例えば業務用、船舶や海上使用など)に使用された場合の故障および損傷

本書は日本国内においてのみ有効です。本書は再発行いたしません。紛失、破損がないように大切に保管してください。保証期間経過後の修理は有料となります。

連絡先: iToma (Hongkong) Company Limited
info@itoma.com